

2005年度は念願の社会学部の新設という記念すべき年であり、社会学部社会学科・社会学研究科の1年生を迎えました。ますます充実した教育と研究を提供すべく、精進して参りたいと存じます。社会学部新設にともない、私たちが文学部社会学科社会学専攻・文学研究科社会学専攻から社会学部社会学科・社会学研究科社会学専攻に所属替えとなりました。また2005年4月1日から社会学理論担当の教授として鶴飼孝造先生、質的調査法ご担当の先生としてブルース・ホワイト先生をお迎えしました。鶴飼先生はグローバル化、情報化の中で社会運動がどのように変化するかの理論化という重厚な研究に取り組み、またコミュニティとネットワークの調査も継続中です。ホワイト先生はアイデンティティを中心とした研究に取り組み、日本でのフィールドワーク経験もある先生です。特に英日の若者文化の比較研究をしておられます。お二人の先生をお迎えし、現在、森川・鯨坂・尾嶋・立木・小林・板垣・鶴飼・ホワイト・藤本の総勢9名のスタッフとなりました。社会学部新設と新任の先生のご着任で社会学科は活気に満ちあふれています。

なお、今年度は博士前期課程では3名が修士論文を提出し、修士号が授与されました。

(藤本)

## 2005 年度 院生業績一覧

博士課程（後期課程）

吉田 崇

### 【学会報告】

「世代内所得移動の機会構造——SSM 調査をもちいた推計」2005 年 9 月 第 40 回数理社会学会（同志社大学）

黒宮亜希子

### 【査読付論文】

「パネルデータからみる阪神・淡路大震災被災者の復興——2001 年・2003 年兵庫県生活復興パネル調査結果をもとに」（共著）2005 年 11 月『地域安全学会論文集』第 7 号 375～383 ページ（地域安全学会）

### 【学会報告】

「被災者の語りと計量調査結果からみる震災復興と新たな公共性——阪神淡路大震災被災地での質的・量的調査より」（共同報告）2005 年 5 月 第 56 回関西社会学会（大阪市立大学）

「パネルデータからみる阪神・淡路大震災被災者の復興——2001 年・2003 年兵庫県生活復興パネル調査結果をもとに」（共同報告）2005 年 11 月 第 17 回地域安全学会（静岡県地震防災センター）

「Recovery from the Hanshin-Awaji Earthquake: Using the 2001, 2003, and 2005 panel data analyses」（共同報告）2005 年 12 月 The 7th Conference of the Asia-Pacific Sociological Association (Mahidol University, Bangkok)

中村 圭

### 【著書（翻訳）】

バーナード・ウォン「アメリカにおける中華料理と中華レストラン」（英語を日本語に翻訳）2005 年 7 月 森川眞規雄責任編集『アジア遊学』第 77 号 100～109 ページ（勉誠出版）

張展鴻「香港私房菜（香港のプライベート・レストラン）」（英語を日本語に翻訳）2005 年 7 月 森川眞規雄責任編集『アジア遊学』77 号 152～156 ページ（勉誠出版）

越智 祐子

### 【査読付論文】

「まちの復興のメルクマールとしての震災モニュメント形成——地理情報システムを用いた形成要因の分析」（共著）2005 年 11 月『地域安全学会論文集』第 7 号 79～86 ページ（地域安全学会）

**【学会報告】**

「震災モニュメントは「いつ」「どこ」につくられるのか——地理情報システムを用いた成立要件の分析」(共同報告) 2005年5月 第56回関西社会学会(大阪市立大学)

「まちの復興のメルクマールとしての震災モニュメント形成——地理情報システムを用いた形成要因の分析」(共同報告) 2005年11月 第17回地域安全学会(静岡県地震防災センター)

雨森 聡

**【学会報告】**

「政党好感度を用いた支持なし層の分析」2005年5月 第56回関西社会学会(大阪市立大学)

田中 志敬

**【学会報告】**

「都心回帰にともなう既存の地域社会の対応——京都市都心部を事例にして」2005年5月 第30回地域社会学会(東京農業大学)

「まちづくり組織による既存自治組織の再編過程——京都市都心部を事例にして」2005年10月 第78回日本社会学会(法政大学)

西丸 良一

**【研究ノート】**

「教育における社会移動「型」の諸理論と残された分析課題」2006年3月『佛教大学大学院紀要』第34号(佛教大学)

「大学入試選抜方法と出身階層」2006年3月『佛大社会学』第30号(佛教大学社会学研究会)

**【学会報告】**

「教育におけるトラッキングと出身階層——学外教育・浪人を加えた分析」2005年9月 第57回日本教育社会学会(放送大学)

博士課程(前期課程)

南 了太

**【講演会】**

「京都西陣地域の自治活動——千両が辻伝統文化祭を事例として」2005年9月 四条畷市公民館講座  
「くらしと政治」(四条畷市公民館)

古澤 慎介

**【研究ノート】**

「ナショナリズムの二側面性——象徴への感情と国への感情の差異」2006年3月『同志社社会学研究』第10号（同志社社会学研究学会）

伏見 ゆず

**【紀要論文】**

「ワーカーズ・コレクティブの可能性と限界——参加型自主管理労働を支える現実」2006年3月『同志社社会学研究』第10号（同志社社会学研究学会）

## 2005年度 修士論文題目

氏 名	論 文 題 名
南 了 太	イベント祭りと地域活性化 ——西陣千両が辻伝統文化祭の事例——
宮 田 尚 子	職場への帰属意識と相談ネットワーク
山 本 圭 三	大学生のフリーター化に関する諸要因 ——自己効力感・社会観という視点を用いて——

## 執筆者紹介

藤本 昌代 (ふじもと まさよ)

同志社大学社会学部助教授

組織社会学、情報社会学、産業社会学

mfujimot@mail.doshisha.ac.jp

河口 充勇 (かわぐち みつお)

同志社大学 技術・企業・国際競争力研究センター

華人社会研究、グローバリゼーション論

mkawaguc@mail.doshisha.ac.jp

清水 睦子 (しみず あつこ)

米アーモスト大学日本語学科ティーチングアシスタント

第二言語教育、Bilingual/Bi-cultural Education、質的調査法

aatshmz@hotmail.com

伏見 ゆず (ふしみ ゆず)

同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻博士課程 (前期課程)

福祉社会学、公共・非営利組織の研究

yuzu\_citrus@s2.dion.ne.jp

古澤 慎介 (ふるさわ しんすけ)

同志社大学大学院社会学研究科社会学専攻博士課程 (前期課程)

ナショナリズム論

hau46660@tree.odn.ne.jp

(執筆順、所属は2006年3月31日現在)